



1 次避難場所集合

万が一、大規模な災害が発生しても冷静な行動が取れるように、災害時の心構えを日

波田地区防災訓練

防災時の備え
出来ていますか？



規模災害に備え、地震発生を想定した防災訓練が各町会で実施されました。

同日、町会役員による避難所開設訓練も実施されました。

6月19日大

ごろから持つておきたいものです。

私の住んでいる3区での当日の様子について、町会長より寄稿いただきましたので、掲載いたします。

【波田地区3区町会長 百瀬 潔】

波田地区防災訓練にあわせて、当3区においても同時に実施しました。

8時に訓練放送があり、第一集合場所に8時15分までに集合し、隣組長さんを中心に安否確認を実施しました。

結果として世帯の66%、人口の32%の人が参加し、前年の約2倍の参加があり、関心の高いことがわかりました。

問題点として訓練放送が聞きづらく、災害時には問題であるとの指摘を受けました(市への要望をしたい)。

当松本地域は「糸静線」の断層帯にあり、30年以内に震度6弱以上の地震発生率が30%に近いといわれており、当町会では災害時に安否確認を一番に実施しなければいけ

館報

はだ



スージーちゃん スイカワくん

平成28年7月1日現在

世帯数	5,965戸
人口	15,651人
男	7,568人
女	8,083人



避難所開設訓練 2次避難場所

とっております。

また、個人が必要な「入れ歯」「めがね」「薬」等を持参できるように準備をしておくのも良いでしょう。

ただればと思います。

また、災害時を想定し各家庭においてどのような物を準備したら良いか話し合っていたとき、家族が2〜3日くらいは生活ができるよう、食料品・水等を準備しておいていただければと思います。

ないため、5月に各戸ごとの安否確認用名簿の提出をお願いし、町会全体の取りまとめをしました。災害時には人命救助を第一に取り組んでいきます。

この日は晴天に恵まれ、気温も29度に達するなど夏日になりましたが、選手の皆さんは和気あいあいと楽しそうに汗を流していました。

中央運動広場2面と波田学院グラウンド・下島運動広場・赤松運動場に分かれて行われ、20チームが参加しました。各会場で様々な場面が展開されており、なかには審判に抗議するような場面もありましたが、「楽しくやろうぜ」などと声を掛け合い、ゲーム



今年の優勝は17区

町内公民館対抗40歳以上ソフトボール大会



を楽しもうとする雰囲気が出ているのを感じました。

また、試合の中で「キャッチャー！」と叫びながらも、高く上がった打球を追いかけ捕手の目の前で自ら捕球する熱血投手の姿もありました。

試合結果をみれば、同点でジャンケンとなり涙を飲んだチームや、23点の差をつけられてギブアップするチームもあったりして、波乱に満ちた大会でした。



今年、今年の試合結果は次の通りです。

町内公民館対抗
40歳以上ソフトボール大会

試合結果

優勝 17区

準優勝 20区・27区合同

3位 1区及び10区

北海道から 移住して7年目

道東の釧路市から、家族4人と猫2匹で移住してきて丸6年が過ぎました。

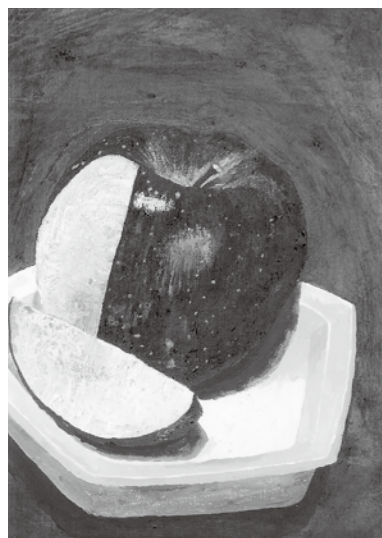
息子が小学校の入学式の時、お祝いに来てくれた妻の父が「お前達、波田に来てみないか。古くて小さな家だけど、買つて色々手直ししたからすぐに入れるぞ」と言ってくれました。私はすぐに「はい、行きます」と言っていました。

私の頭の中では子ども達が高校生になった時、長時間のバス通学をしなればならないと思っていたからです。波田へ行けば学校はどこもそんなに遠くないというのです。電車も利用出来るというのです。北海道を離れて信州に行くかと決めました。友人からハイエースのロングを借り、家財を積み込み、珍道中をしながら2010年の3月末に波田に着きました。

娘の中学の入学式に間に合わせました。全校生徒17名の小規模校から、1000人以



上のマンモス校への転校です。子ども達は、おおいにとまどつたと思います。子ども達は転校生、妻は波田出身だから里帰りです。今度は母となつて両親の側で暮らす安心感、旧友とも再会出来る懐かしさ、私と暮らした北国の19年は楽しい事も少しはあっただろうけれど、

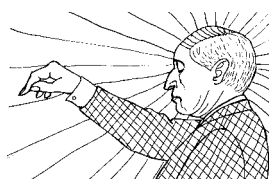


むしろ辛く厳しい事が多かったように思います。貧乏絵描きの私にしてみれば、新天地波田は遠くにヒマラヤのような連山、数多くの稲田、そば畑、スイカやりんご等多くの果実、松本盆地や安曇野盆地に湧出する豊かな水、秋になると柿の実の朱色、稲穂の金色等、思わずくちずさみたくなる「ふるさと」の風景が広がっています。

北海道で描いていた私の絵は、白や黒や茶色が多かったように思います。波田に来てから描いている絵は、赤や青や緑や黄が画面上に多く表れてきたように思います。

私が絵に描こうとするものは、暮らしの中から見える、より身近なもの・風景・人物です。波田に来てから、特に緑が多くなったように思います。信州は、緑濃い水の豊かな大地だと感じています。

追悼ピエール・ブーレーズ



今年の1月に、20世紀を代表する作曲家で指揮者のピエール・ブーレーズが亡くなった。私は中学生の時に彼のバルトーク作曲「打楽器とチェレスタのための音楽」の演奏を聴き、鮮やかで研ぎ澄まされた世界に夢中になった。同時に「20世紀につくられた新しい音楽」にも興味を持った。彼の演奏により、シェーンベルクやベルク、ドビュッシーやラヴェルなどの音楽の魅力を知った。

彼は自分の曲を演奏するたために指揮を始めたのだが、天才的な頭脳と鋭い耳でオーケストラを自在に操り、「複雑で、難解で、演奏不可能」と言われた20世紀の数々の曲を、まるで「しつかりとしたストーリー」を持った物語りのように明解に描いてみせた。ストラヴィンスキーの「春の祭典」などは、彼の演奏で初めて本当の姿が解ったとまで言われた。彼の活躍で、埋もれていた沢山の曲の魅力が理解され、コンサートで演奏されるようになった。まさに時代を切り開いた偉大な存在であった。



7月は選挙が話題の月。参議員選に東京都知事選。

さらに、選挙権が18歳以上になって初めての選挙。有権者が増え、政治に参加できる人が増えることは良いことだが、一方で投票率が低いのが気になる。▼最近の国政選挙の投票率は50%そこそこ。政治の選択を放棄している人が半分近くいるという現実。他人任せの国民性なのか。海外はどうなのか？実は、大統領予備選で盛り上がりつつある米国でさえも、日本と大差ないらしい。▼一方、高いのが北欧諸国で80%前後。北欧といえば、福祉が充実しているイメージがあり、国民も政治への関心が高いようだ。また、オーストラリアなど、投票しないと罰金という国もあり、90%を超えている。▼さて、投票率を上げるには、どうすべきなのか。政治をもっと身近な存在に感じるようになるかなければならないのだろう。

▼英国は、国民投票でEU脱退に大きく舵を切る。たった一票、さほど大きな意味を持つ一票だ。これからの日本を背負う若者の政治への参加に期待したい。